

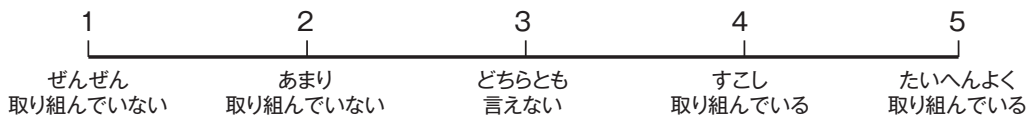
子どものやる気を引き出す言葉かけミニレッスン③ 目線や表情によるコミュニケーションを高めよう

目力への理解を深めるために、教師同士で取り組みましょう（詳細はP.81）

名前

◆あなたの目力（めちから）を振り返ってみましょう（1～5の数字で回答）。

- ①一人一人や学級全体の子どもの目を見て話していますか。
- ②朝の会や帰りの会、授業などで、子どもの目線を集める時間や場面をつくっていますか。
- ③子どもの目を見て「おはよう」「さようなら」などのあいさつをしていますか。
- ④子どもの目を読んで気持ちを受け止め、言葉かけをするようにしていますか。
- ⑤朝や帰りの会、授業などで、教師の目線を子どもに感じさせる場面をつくっていますか。



①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

◆言葉かけLesson

目力を使う場面や状況	目力（めちから）を生かした言葉かけLesson Words 目力をうまく使う教師は、子どもや学級集団をつかんで指導を進めることができる	取り組む言葉かけに○をつける
①子どもの目を見て話す	1. 全体の子どもの目を見ることを意識し、ゆっくりわかりやすく話す。	
	2. 特定の子どもの目線を送り、その子どもや周りに対して話す。	
②子どもの目線を集める	3. 「みんなの目が先生とつながっています。素晴らしい集中力です。さすが□□□学校の○年生です」とほめたあと、教師が伝えたいことを話す。	
	4. 「○○さん、先生と目を合わせてくれてありがとうございます。話を聞こうという気持ちが伝わってきます」と言った後、教師が伝えたいことを話す。	
③目を合わせたあいさつ	5. 子どもと目を合わせて「○○さん、おはようございます。今日もよろしく」	
	6. 子どもと目を合わせて「○○さん、さようなら。明日もがんばろうね」	
④子どもの目を読む	7. 子どもと目を合わせ、「気が散って集中できないようだけど何かあったかな？」と一人一人やグループ、全体に対して言葉かけを行う。	
	8. 子どもと目を合わせ、「○○さん、元気のない目をしているけど、大丈夫？」と本人や周りに対して言葉かけを行う。	
⑤教師の目線を感じさせる	9. 目を合わせ、「よくがんばったね」という気持ちを込めて温かい目線を送る。	
	10. 目を合わせ、「してはダメだよ」という気持ちを込めて厳しい目線を送る。	

◆レッスンワードの中から一つを選んで実際に言葉かけしてみましょう。

ワード番号 場面や状況
()

◆思いが届く言葉かけ（レッスンワードに言葉を加え、実際に子どもに言葉かけするセリフをつくる）